

# ExeJapan BSが提供する MBA Top-upプログラムの特徴

- ▶ **英国国立大学のMBA学位が取得できる**  
→つまり世界に通用する学位が取得できるということ。
  - 学位は通貨である。通貨には国際流通性が重要。
  - 日本の大学のMBAはMBAである根拠がない。
    - ▶学位の正式な略称がMBAとはならない。
    - ▶国際認証があったとしてもあくまで民間組織の認証。
    - ▶国際認証がなければ「自称MBA」（根拠なし）
- ▶ **世界基準の学習ができる**
  - 課題や論文作成の過程が論理的・合理的・科学的思考力とアウトプット能力を養う。
  - ビジネスマネジャーとしてのプレゼン能力が身に付く。
  - 世界標準の論文執筆力が身に付く。
  - ディスカッションやケース学習だけでは不十分。
- ▶ **日本国内ですべての学習が完結する**
- ▶ **学位取得までの総学習費用は231万円（税込み）※入学審査料別途3.3万円**
- ▶ **修了までの最短期間は約18カ月間（さらなる短縮も可能）**

# ExeJapan BSの利点

**1. 入学に際して英語能力は問わない（英語資格、スコアの提出は不要）**

**2. PGD課程で取得できるPGD「Qualifi Level 7」は英国試験監査機関「OfQual」の認可を受けている公的資格である**

※ARU以外にもこのPGDを入学資格として受け入れる大学は複数あります。

**3. 授業はオンライン&対面のハイブリッド形式（PGD課程）**

リアルタイムで授業を受けることに勝るものではありません。

本プログラムにおける教授経験豊富な教員が指導していますので、安心して効率的に学べます。その証拠がTop-up後の非常に高い学位取得率です（ほぼ全員）。

**4. 他の海外MBAに比べ、学位取得までの費用と時間にアドバンテージ**

**5. 英国国立大学の学位は世界的に通用する**

# MBA理解するためのポイント (日本のMBAの問題点)

- ▶ MBAには世界共通の概念というものがある。しかし、日本の文部科学省にはMBAの概念はなく、規定もない。つまり、日本の大学には正確にMBAと呼べる学位は存在しない。
- ▶ 日本の教育機関はMBAと表記しているが、英訳したときに略称がシンプルにMBAとなる学位は存在せず、市場の混乱を招いている。
- ▶ MBAコースの概念は「キャリア・デベロップメント・ゼネラリスト・プログラム」であり、日本の経営学修士号コースとは異なるものである。
- ▶ MBAコースの教員は、ファシリテーター、コンダクター、エンターテイナーであり、経営学におけるアカデミック教員とは異なる。
- ▶ MBAの概念を具現化させるためには、MBA教育に関する第三者品質保証が必要不可欠である。

# 日本の修士号取得者数は 極めて少ない

【図表3-4-2】 人口100万人当たりの修士号取得者数の国際比較

